



宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年4月5号)
文責 校長 田雑 健
平成30年4月23日(月)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

小中高合同歓迎遠足

— 宇久っ子大集合の1日でした —

19日(木) 抜けるような青空のもと、小中高の合同遠足を実施しました。

まず、高校へ移動し、体育館で交流会を行いました。各校1年生の自己紹介は工夫がされていておもしろかったです。中学生の「逆再生クイズ」、小学生がどんどん正解したのは驚きました。「〇〇兄ちゃん、△△姉ちゃん」と本当にみんなが親しいんだということを改めて感じました。

小中高合同の班をつくり、班ごとに陸上競技場へ向かいました。歩く途中も素晴らしいお天気で、みんな元気に到着し、班・全体の交流を深めるゲームを行いました。1時間ほどグラウンドを走り回っていましたね。お昼になり、班で集まって昼食をとり、その後思い思いに、自由時間を過ごし、競技場を清掃し全体写真撮影まで済ませることができました。

朝、お話ししたように「自分ががんばる1日」「友達のがんばりを見つめる1日」「集団として成長する1日」になったでしょう。



4月～6月の重点
立場・役割の自覚
— 集団と個人 —

○小中高合同行事、市中体等を通して

国・県・市の学力調査

— 問われるのは日頃の積み重ねです —

17日(火)に国、県、市の学力調査を実施しました。内容は

3年生：全国調査(国、数、理、学習状況)

2年生：県調査(国、数)

1年生：市調査(国、数) でした。

3年生は18日(水)にも引き続き県学力調査(英語)を実施しました。今までの学習の成果を確かめるとても貴重な機会です。結果が後ほど届くので、点数に一喜一憂するのではなく、自分の学習の成果として、また、今後付けていくべき力の指標として活用してほしいと思います。

避難訓練 — 備えよ！常に —

13日(金)に本年度第1回目の避難訓練を実施しました。今回は避難経路の確認、消火訓練、3階から避難装置による避難訓練を行いました。大変お忙しい中、西消防署宇久出張所からお出でいただき、訓練全般について指導、講評をいただきました。その中で
○今回は事前に分かっていたが、もし知らされていなかった場合でも
同じように動けたか振り返りをしておく。

○もし、自分がよく知らない場所にいる時に火災や
その他災害にあったらどうするか、常に避難口の
掲示等を意識する。

の2点については、今後、特に心してかかる必要があります。「自分の身は、まず自分で守る」、その気持ちと力をしっかりと身に付けましょう。



授業参観、PTA総会等へのご参加ありがとうございました

PTA 総会、部活動振興会総会、そして学級懇談会を実施しましたところ、お忙しい中にも関わらず保護者の皆様にはご来校いただき誠にありがとうございました。

PTA 総会では、昨年度の会務報告、決算・監査報告が行われた後、今年度の役員さんが選出され、新旧役員の交代となりました。29年度の役員



の皆様には1年間のご苦勞に対し感謝申しあげますとともに、30年度の役員の皆様にはPTA活動の軸として、今後とも、より一層のお力添えをいただければと思います。

続いて、部活動振興会総会が行われ、こちらも昨年度決算・監査報告、今年度の予算審議が滞りなく終了しました。

ご参会いただいた皆様にお礼申し上げます。

なお、今年度もPTA地区委員の皆様には給食費の集金をお願いいたしております。大変お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

大型連休前に

20日の会の最後に時間を頂いて、学校から2点連絡をさせていただきました。

1点目が「大型連休を前に」ということで、生徒の安全・安心の確保に向け、保護者の皆様にご協力をいただきたいという趣旨の話です。このことについては、本日付でプリントも配布しておりますので、ご一読の上、ご家庭でも子どもたちへの声かけをお願いいたします。

2点目が報道でも取り上げられていますが、沖縄県などから広がりつつある「麻疹」（いわゆるはしか）に関しての注意喚起です。インフルエンザと異なり空気感染ということで、一層感染力が強いということですので、十分に注意なされてください。

今年度の指針として

4月6日（金）前期始業式の際、今年度の指針として、大きく3点話をしました。

1つめが「自分の立場・役割を意識して行動すること」です。新3年生は「宇久中学校の顔」として学校を常に代表する立場になります。新2年生は「中堅学年」として3年生から様々なことを受け継ぐとともに、新1年生を導いていく立場になります。立場によって、為すべき役割が生まれてきます。それぞれの学年に期待されている立場・役割を自覚して、積極的に取り組むことで、さらに大きな成長につなげてほしいと思います。

2つめは「広い心と甘えない強さを養うこと」です。宇久中学校では、「ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒の育成」を学校教育目標に掲げています。その実現を図る中で特に難しいのが「自らの判断で正しく行動できる」ということだと思います。その力を身に付けていくときに、重要になってくるのが、「広い心」と「甘えない強さ」であると思うのです。広い心は「寛容」、甘えない強さは「節度」と言い換えてもいいかと思います。人は人として平等ですが、同時に様々な違いがあることも事実です。得意・不得意、上手・下手、好きなこと嫌いなこと。そういった自分との違いについては寛容に、広い心で受け止める。一方で自分の苦手なことや嫌いなことから逃げず、「為すべきことを為す」「マナーやルールを守る」節度、甘えない強さをもつ。この2つの心・強さを養うことで、「自らの判断で正しく行動できる」ことにつなげてほしいと願っています。

3つめは、「計画的に物事に取り組むこと」です。特に3年生にとっては、中学校卒業に向けて、進路決定に向けてのカウントダウンが本格的に始まります。何をどこまで、どのようにがんばっていくか。計画をしっかりと立てて取り組んでいくことが大切です。そして、節目節目で現状を振り返り、調整・改善をしながら活動を続けて、目標達成に向かってほしいと思います。

以上、今年度の指針といった思いで生徒には話をしました。今後も繰り返しこの3点については話を続けていきたいと思っています。